

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会専門部会

第1回 地域づくり・行政経営部会

議事概要

日時：8月20日（火）午後7時～8時45分

場所：大会議室

◆出席者 幹事会 地域づくり・行政経営部会委員 15名（欠席者2名）
小林政策推進課長、政策推進課員（前田、廣瀬、雨山）

◆次第

1 開会

2 報告事項

（1）専門部会の趣旨説明

概要： 当日配布資料に基づき事務局説明

質疑： 意見無し

3 意見交換

（1）現総合計画の構成や見せ方等について

意見は別紙「体系・項目への意見（ふせん）」のとおり

（2）項目ごとの現状と課題について

意見は別紙「部会での意見」、「24項目の各項目への意見（ふせん）」のとおり

4 その他

閉会

◆会議資料

項目ごとの現状と課題（叩き台案）

大野市中期財政見通し（案）

第1回 地域づくり・行政経営部会のようす



第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会 専門部会委員名簿

専門部会	分野	推薦・公募委員		市職員(庁内WG員)		
		氏名	団体等名	氏名	所属	
こども・ 健幸福祉 部会 (14)	こども (7)	山村 かすみ	大野市立保育園 保護者連合会	大久保 克紀	教育総務課	
		尾山 勝也	大野市PTA連合会	松川 佳子	こども支援課	
		川田 香菜子	みらい子育てネット大野			
		富田 啓明	大野市教頭会			
		金原 陽子	公募委員			
	健幸 福祉 (7)	林 幹雄	大野市老人クラブ連合会	善藤 照美	福祉課	
		櫻川 みゆき	大野市社会福祉協議会	藤田 裕子	健康長寿課	
		佐々木 智恵美	大野市スポーツ協会	平瀬 和美	スポーツ推進課	
		高井 博正	大野市医師会			
	地域経済 ・くらし 環境部会 (20)	地域 経済 (11)	石田 孝治	福井県農業協同組合 奥越統括支店	五十川 美香子	産業政策課
保格 浩一			九頭竜森林組合	松山 倫也	産業政策課	
嶋田 優子			大野商工会議所	嶋田 奈津江	観光交流課	
藤堂 規行			越前おおの観光ビューロー	松本 成玄	農業林業振興課	
堀川 昌市			連合福井・福井地域協議会 大野地区連絡会			
森田 悠揮			大野青年会議所			
合田 昌範			公募委員			
くらし 環境 (9)		山川 正秀	大野建設業会	山田 良夫	建設整備課	
		清水 里美	大野市消防団女性分団	川島 範彦	交通住宅まちづくり課	
		竹田 稔	大野市木材組合	村中 宏美	環境・水循環課	
		島田 健一	中野清水を守る会	佐藤 実	上下水道課	
				羽生 雅則	消防本部	
地域づくり ・行政経営 部会 (17)	地域 づくり (10)	松田 典子	大野市文化協会	清水 宏樹	地域文化課	
		齋藤 雅彦	大野市区長連合会	新井 大志	市民生活・統計課	
		江波 庄進	大野男女共同参画ネットワーク	中山 裕子	防災防犯課	
		坂本 道子	奥越前まんまるサイト	山田 明弘	生涯学習・文化財保護課	
		竹内 大策	下庄をよくする会 しもプロ部			
		木村 有希	公募委員			
	行政 経営 (7)	佐々木 成充	越前信用金庫	前田 晃宏	政策推進課	
		畑 允子	公募委員	竹田 雄次	秘書広報室	
				北村 邦裕	総務課	
				亀岡 有紀	財政経営課	
				松田 智幸	税務課	
	全体統括		岡崎 英一 竹田 周平	福井大学 福井工業大学		

体系

▼ 24項目

▼ 延べ68個の施策

将来像	基本目標	項 目	目 指 す 姿	施 策
人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち	こども 未来を拓く 大野っ子が 健やかに育つまち	1 子育て	安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち	1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します 1-2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します 1-3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します
	健幸福祉 健康で自分らしく 暮らせるまち	2 学び	子どもたちの確かな学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち	2-1 優しく賢くたくましい大野人を育てます 2-2 児童生徒の教育環境を整えます 2-3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます
		3 健康・医療	市民が、自ら健康づくりに取り組み、地域医療体制や感染症対策が整った環境で、健やかで幸せに暮らすまち	3-1 赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりを支援します 3-2 地域医療体制の充実を図ります 3-3 感染症などの予防や対策に取り組む体制を整えます
		4 地域福祉	市民が、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすまち	4-1 地域共生社会の実現に向けて取り組みます 4-2 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します 4-3 障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します
	地域経済 歴史・風土と 新たな強みを 生かした 活力あるまち	5 スポーツ	市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち	5-1 スポーツを楽しむ取り組みを推進します 5-2 競技力の向上を支援します 5-3 子どものスポーツ活動の充実に取り組みます
		6 農業	次世代技術を生かした農業の普及が進み、多様な担い手によって、活力ある農山村が引き継がれているまち	6-1 魅力ある農業経営を実現します 6-2 特色ある越前おおの産農林水産物の生産や販売を振興します 6-3 多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します 6-4 農地の適切な管理と有効利用を図ります
		7 林業	豊かな森林資源を活用した林業により、資源の循環と森林の多面的機能が発揮されたまち	7-1 林産物の生産能力の向上を支援します 7-2 山林を適切に管理します 7-3 林業従事者の確保と育成に取り組みます
		8 商工業	人の交流や物流が拡大し、多くの店舗や企業が活気に満ちたまち	8-1 事業者の経営課題に対し総合的に支援します 8-2 まちなかのにぎわいを創出します
	暮らし環境 豊かな自然の中で 快適に暮らせる まち	9 観光業	県内外や国外から多くの観光客が訪れ、にぎわい、経済活力にあふれるまち	9-1 魅力ある地域資源を磨き上げ、観光資源として活用します 9-2 観光客の来訪を増やし満足度を高める取り組みを推進します 9-3 観光営業活動の強化と情報発信を充実します
		10 働く環境	新たな魅力ある企業の立地や市内企業の働きやすい環境整備により、若者や子育て世代をはじめ、市民が生き生きと働くまち	10-1 企業の魅力や生産性、労働環境の向上と、多様な人材の就労を支援します 10-2 企業誘致を進めるとともに新たな産業を育成します
		11 自然環境・ごみ	市民が誇る豊かで美しい自然環境が維持され、循環型社会が形成されたまち	11-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます 11-2 環境の美化と環境教育を推進します 11-3 ごみの減量化と資源化を推進します
		12 水環境	恵まれた水環境や地域固有の水文化が継承され、人と水との豊かなかわりが実現されたまち	12-1 流域マネジメントを推進します 12-2 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承を推進します 12-3 気候変動や地下水障害への対応に取り組みます 12-4 河川や地下水の水質保全に取り組みます
	地域づくり みんながつながり 地域が生き生きと 輝くまち	13 生活環境	大野らしい景観が守られ、快適に暮らすことができる生活環境が整ったまち	13-1 景観に配慮したまちをつくれます 13-2 安全で快適な住宅環境を整備します 13-3 上下水道基盤を整備し適切な維持管理を行います
		14 消防・減災	災害に強い強靱なまちづくりが進み、緊急時の情報伝達や消防・救急の体制が充実したまち	14-1 災害に備えた体制を整備します 14-2 消防・救急体制を強化します
		15 道路	生活や産業の基盤となる安全な道路と広域ネットワークが整備され、通勤圏や市場が拡大し、交流人口の増加によりにぎわうまち	15-1 幹線道路などの整備を促進します 15-2 雪や災害に強い生活道路を整備、維持します 15-3 健康づくりや低炭素社会の実現などに向けて取り組みます
		16 公共交通	誰もが利用しやすい公共交通網が整備されたまち	16-1 公共交通の維持とまちづくりへの活用を推進します 16-2 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道奥内全線開通、人口減少社会を見据え、地域交通のあり方を検討します
	行政経営 結のまちを 持続的に支える 自治体経営	17 ひと・地域	市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち	17-1 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します 17-2 地域での交流を深め、支え合いを広げます 17-3 地域住民が利用しやすい活動拠点をつくれます
		18 防災力・防犯力	地域の防災力・防犯力が高まり、災害や事故に備えた体制が整ったまち	18-1 地域における防災力の充実と強化を図ります 18-2 犯罪や事故を防止します 18-3 空き家などの対策を推進します
		19 文化芸術	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	19-1 文化芸術の振興と継承を推進します 19-2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します 19-3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します
		20 移住定住	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	20-1 住まいや仕事の確保を支援します 20-2 地域での受け入れ環境を整えます 20-3 大野の魅力を伝えます
		21 情報共有	市内外に大野の魅力が発信され、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているまち	21-1 情報発信や情報提供の充実を図ります 21-2 施策などの情報を市民と共有し、市民の意見を市政へ反映します
		22 協働・連携	自治会や団体、学校、企業、行政など、さまざまな活動主体が、お互いの立場と役割を理解し、協働・連携してまちづくりに取り組むまち	22-1 市民協働のまちづくりを進めます 22-2 他の自治体などとの協働や連携によるまちづくりを進めます
		23 市民サービス	デジタル化が進む中、誰もが利用しやすい市民サービスが提供されているまち	23-1 申請などの手続きのオンライン化を推進します 23-2 分かりやすく丁寧な市民サービスを提供します
		24 行財政	計画的で効率的な財政運営と、市民の期待に応えられる人材と組織により、安定した自治体経営が堅持されているまち	24-1 持続可能な財政運営を行います 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」に取り組みます 24-3 人材育成と組織の整備を進めます 24-4 市有財産を適正に管理し、効果的で効率的な活用を図ります

施 策
展 開

分野を超えた連携
ニューノーマルへの適応とデジタル化の推進
SDGsの推進

◀ 施策展開の視点（施策横断・縦串）

「体系」への意見（ふせん） ※3部会すべて

意見（ふせん）	賛同シート
基本目標、目指す姿が明確にわかりやすい	0 枚
いろいろ色分けがしてあり、見ていてあきない	0 枚
文字情報が多いかもしれない（イラスト、図表でパッとみてわかる工夫が必要）	4 枚
「こども」分野に「子育て」以外に「結婚・出産」を項目として立ててはどうか？	3 枚
「子育て」施策の「3 サポートを必要とする子どもと家庭」に経済的な困窮を入れてはどうか？	1 枚
一部文字が小さい、若くない者には見えにくい	0 枚
子どもでもわかりやすい表現をすると良いと思う	5 枚
平易な言葉で表現もわかりやすい	1 枚
11 項目 企業誘致	1 枚
字が多い、見た時点で読む気が起きない	2 枚
字が多く見る（読む）気にならない	0 枚
項目が多い	0 枚
文字が多くて小さい、強弱があると見やすい	6 枚
「地域づくり」のうち⑦は「こども」の項目に入れてはどうか	0 枚
計画の統一性を保つため、体系は変更すべきではない	0 枚
施策ではなく、みんなができることを記載してはどうか	0 枚
人生ゲーム風に	1 枚
重点的な施策をポイントしぼって、見やすく、わかりやすく表示すると良い	5 枚
施策の項目が多く感じる	0 枚
施策展開（縦）と施策（横）の関係がわかりづらい	0 枚
「行政経営」は分野横断的なことが多いので、施策展開に振っても良い	0 枚

第4章 基本目標分野別前期基本計画

各ページの構成

項目

基本計画は、項目ごとに整理しています。

目指す姿

計画に掲げる取り組みを進めることで目指す、将来の大野市の姿を示しています。

現状

項目分野における現状をまとめたものです。

課題

項目分野における課題をまとめたものです。

基本目標 1 「こども」分野 未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち

1 子育て

目指す姿

安心して結婚・出産・子育てができ、
すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち

現状

- ▶ 結婚から妊娠期、乳幼児期、学童期まで、それぞれの過程において切れ目のない支援を行い、子育て世代が安心して育児や教育ができる環境の整備に取り組んでいます。
- ▶ 大野市の結婚率⁹は全国や福井県全体と比べて低い状況にあり、平均初婚年齢は年々高くなっています。
- ▶ 20歳代後半から30歳代の女性の人口が減少しており、平成21年以降、220人前後で推移していた出生数は平成29年以降、200人を下回っています。
- ▶ 核家族化や地域のつながりの希薄化、雇用環境の変化、子育てにかかる費用の増加など、子どもや子育てを取り巻く環境が厳しくなっています。
- ▶ 発達に気がかりのある子どもや医療的ケア児¹⁰、要保護児童¹¹、ひとり親家庭など、支援が必要な子どもや家庭を専門的、総合的に支援しています。

課題

- ▶ 将来の結婚や子育てに希望が持てるよう、働きながら子育てがしやすい環境づくりを進める必要があります。
- ▶ 安心して妊娠や出産ができる環境を整えるとともに、母親が子育てに不安や孤立感を持たないよう、妊娠期から切れ目のない相談支援や情報提供などを継続して行う必要があります。
- ▶ 子どもを取り巻く社会環境の変化などにより、保護者の多様なニーズに対応できる子育てサービスを提供する必要があります。
- ▶ いつでも気軽に子育ての相談ができる場の充実や仕組みを作る必要があります。
- ▶ 地域ぐるみで子育てを応援する意識の醸成や自主的な取り組みに対する支援が必要です。
- ▶ 発達に気がかりのある子どもや医療的ケア児への支援、要保護児童への対応、ひとり親家庭への自立支援を強化する必要があります。

⁹ 結婚率：人口1,000人に対する結婚件数の割合のことです。

¹⁰ 医療的ケア児：日常的に人工呼吸器や胃ろうなどを使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする子どものことです。

¹¹ 要保護児童：保護者のない児童または保護者に監護させることが不適当であると認められる児童のことです。

施策

1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します

- ① 将来の結婚や子育てに希望が持てるよう、関係機関が連携して、若い世代の結婚への応援や、働きながら子育てがしやすい環境づくりを進めます。（10：働く環境1～③に再掲）
- ② 子どもの見守りや預かりなど、地域ぐるみの子育てを支援します。
- ③ 妊娠中の不安や産後うつなどにより母親が孤立することがないよう、きめ細かな相談支援や情報提供、保健指導などを行います。

2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します

- ① 子どもの人権を尊重した質の高い保育・幼児教育を提供するとともに、保育士や保育教諭などのさらなる資質と専門性の向上を図ります。
- ② 保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育や一時預かりなどの特別保育を実施します。
- ③ 在宅での子育て家庭に対し、関係機関が連携して子育てサービスを提供します。
- ④ 子育てにかかる経済的な負担を軽減する取り組みや子育て情報の発信など、保護者のニーズに沿ったサービスを充実します。
- ⑤ 放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもたちの放課後の居場所を確保します。（2：学び3～②に再掲）

3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します

- ① 発達に気がかりのある子どもや医療的ケア児、要保護児童、ひとり親家庭などに対し、関係機関が連携して専門的な支援を提供します。

みんな（市民・団体・企業）ができること

- ① 楽しく食事をしたり、子どもの話をよく聞いたりして、家族団らんの時間をもちます。
- ② 子育て中の親や子どもが地域から孤立することのないよう、温かく見守り、交流します。
- ③ 不妊治療中や妊娠中、子育て中の人が柔軟に働けるよう応援します。

成果指標

指 標	内 容	令和元年度 現 状	令和7年度 目 標	単位
出生率	人口1,000人に対する出生数の割合	4.9	5.2	人/1,000人
地域の子育て支援拠点となる施設の延べ利用者数	地域子育て支援センター、ちっくたっく、民間放の延べ利用者数	25,835	22,820	人

関連する個別計画

- ・教育に関する大綱
- ・大野市子ども・子育て支援事業計画
- ・大野市障がい児福祉計画

施策

目指す姿や現状、課題を踏まえ、計画期間中の5年間に、何に取り組んでいくのかの方針（施策）を示しています。

みんなができること

目指す姿に向かって、市民や団体、企業ができることを掲載しています。

成果指標

施策の成果を測るための指標として、目標や数値を掲載しています。

関連する個別計画

具体的な事業や取り組みは、関連する個別計画に記載されます。

「項目ページ」への意見（ふせん） ※3部会すべて

意見（ふせん）	賛同シート
イラスト写真を各項目ページに	3 枚
文章が長いので、より要点をまとめてほしい	0 枚
「充実します」「提供します」という表現が多いので、具体的に計画している企画や施策一覧があると、納得感がある	0 枚
詳しく知りたい人用と要点だけほしい人用を2部つくる？	0 枚
施策を具体的に知りたい。文章より項目で何をしたいのかパッと見てわかるとうれしい	0 枚
施策に対する評価指標の情報が少なく、施策の効果が見えにくいので、詳しく見れたら良いと考える（ただし、そこまで情報を載せられないと思うので参考まで）	0 枚
前期計画は現状と課題で良いが、後期計画は評価点と課題が良い	2 枚
現状と課題は項目で表現した方がよい	0 枚
文字数が多い、そっと閉じたくくなります	3 枚
字の大きさ、メリハリがあった方がよい	1 枚
特に重要な部分は赤字など	3 枚
写真とかで表現できないかな？	0 枚
「みんなができること」が、もっと目立つとよい	3 枚
項目によっては具体的に施策を示してほしい	1 枚
「目指す姿」目を引くイラストを添える	4 枚
全体に量が多すぎか？	2 枚
文章の文字を少なくする	3 枚
市民が取り組みたい事項のページをつくる	0 枚
イラストをたくさん入れる	0 枚
市HPへのリンクQRを全ページに	1 枚
市が優先することを順位づけする	1 枚
ページを減らす	0 枚
主要な項目についてはグラフを表示する	0 枚
現状、課題、施策が1セットで見えるようにした方がわかりやすい	1 枚
「目指す姿」を具体的に	0 枚
SDGsと対応していてよい	0 枚
成果指標と施策のつながりがわかるとよい	2 枚

地域づくり・行政経営 各項目への意見（ふせん）

項目	意見（ふせん）	賛同シール
17 ひと・地域	地域づくりの拠点として、これからの公民館の役割に期待している。 社会教育+行政機能＝地域づくりの要。ヒト・モノ・カネを重点的に	4 枚
18 防災力・防犯力	運転者の交通マナー	0 枚
18 防災力・防犯力	一時避難所は、高齢者が楽に行ける場所が良い	1 枚
20 移住定住	住み続けたい大野のPRが必要	1 枚
20 移住定住	農作業体験の中でも「小さい農業」の体験が少しでもできたら	2 枚
20 移住定住	大野ならではの暮らしを体感できるお試し暮らし住まいの整備	2 枚
21 情報共有	地域ブランド調査の魅力度はどのように調査しているのか？（⇒WEBアンケートにより実施）	0 枚
21 情報共有	民間が行うイベントとの連携	4 枚
21 情報共有	どのように多くの市民に議論に参加してもらうか	2 枚
21 情報共有	市民間の情報交換の場をつくることが課題	0 枚
21 情報共有	市民への情報共有が課題	1 枚
22 協働・連携	連携協定に関して、取組内容が形骸化しているとは？	0 枚
22 協働・連携	まずは隣市との連携（観光誘客・公共施設の共有）	5 枚
22 協働・連携	嶺北連携中枢都市圏というワードが市民に理解されにくいのでは？	0 枚
23 市民サービス	マイナンバーカード活用による市民のメリットの明確化。効率化され支出が削減される事務	3 枚
23 市民サービス	デジタルが苦手な人への対応	4 枚
24 行財政	課題 1 点目、「物価高騰等」により税収の減少ではなく、「地域産業の縮小」ではないか	0 枚